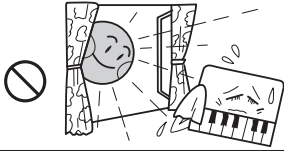


## ⚠ 注意

### ■本機を次のような所では使用しない

- 窓際など直射日光の当たる場所
- 暖房器具のそばなど極端に温度の高い場所
- 戸外など極端に温度の低い場所
- 極端に湿度の高い場所
- 砂やホコリの多い場所
- 振動の多い場所

使用禁止



●故障の原因になります。

### ■鍵盤蓋は、ゆっくりしめる

ゆっくりしめる



- いきおいよくしめると、指をはさみ、けがの原因になります。

### ■コード類を接続するときは、各機器の電源を切って行う

電源を切る



- 本機や接続機器の故障の原因になります。

### ■本機の内部に異物を入れないようにする

異物を入れない



- 水、針、ヘアピン等が入ると、故障やショートの原因になります。

### ■本機の鍵盤にもたれない

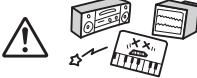
もたれない



- 本体が倒れる恐れがあり、けがの原因になります。

### ■テレビやラジオ等の電気機器の側に置かない

他電気機器から離す



- 本機が雑音を発する恐れがあります。
- 本機が雑音を発したら、他の電気機器から十分に離すか、他のコンセントをご利用下さい。

### ■電源コード、接続コード類はからまないように接続する

からまないようにする



- コードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

### ■ベンジンやシンナーで本機を拭かない

ベンジン/シンナー禁止



- 色落ちや、変形の原因になります。
- 清掃するときは、柔らかい布をぬるま湯につけて、よく絞ってから拭いて下さい。

### ■本機の上に乗ったり、圧力を加えない

上に乗らない



- 変形したり、倒れる恐れがあり、故障や、けがの原因になります。

### ■虫の害を受けないようにしてください。



- 部品に布(フェルト、ラシャなど)が使用されています。虫がつかないように、内部に防虫剤を入れておくのも良い方法です。

- 保証書について
  - 本製品をお買い求めの際、販売店で必ず保証書の手続きを行って下さい。保証書に販売店の印やお買い上げ日の記入がない場合は、保証期間中でも修理が有償になることがあります。
  - 保証書は、本取扱説明書と共に大切に保管下さい。
- 修理について
  - 万一異常がありましたら直ちに電源スイッチを切り、本機の電源プラグを抜いて、購入店または弊社へご連絡下さい。

**ゼンオン** 株式会社 全音楽譜出版社  
http://www.zen-on.co.jp

本社 〒161-0034 東京都新宿区上落合 2-13-3  
 大阪支店 〒572-0836 大阪府寝屋川市木田町 12-17  
 札幌営業所 〒065-0031 北海道札幌市東区北 31 条東 2-1-19  
 仙台営業所 〒984-0073 宮城県仙台市若林区荒町 75 オクエビル 2F  
 福岡営業所 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前 2-12-9 第 6 グリーンビル 4F  
 配送センター 〒392-0015 長野県諏訪市中洲 4620  
 tel:03-3227-6270 fax:03-3227-6276  
 tel:072-820-3000 fax:072-820-3210  
 tel:011-751-5111 fax:011-751-5200  
 tel:022-722-1860 fax:022-266-1871  
 tel:092-481-5050 fax:092-481-5070  
 tel:0266-52-9340 fax:0266-52-9342

# スクールバスキー

## 取扱い説明書

### SB-370DX



### SB-37DX



**ゼンオン**

この度はゼンオンスクールバスキーSB-370DX／SB-37DXをお買い上げいただき、有難うございます。

末永く、ご愛用頂くために、本取扱い説明書をお読み頂き、正しい方法でご使用下さい。

## 仕様

	SB-370DX	SB-37DX
鍵数	37鍵	
同時発音数	16音	
音色	21音色 ウッドベース/Eピアノ/Gピアノ/Eベース/マリンバ/ビブラフォン/オルガン1/オルガン2/ボイス/アコーディオン/ハーモニカ/トロンボーン/ストリングス/コントラバス/サキソフォン/チューバ/イングリッシュホルン/ブラス/クラリネット/バスーン/ティンパニー	
音色(打楽器)	37種類	—
機能	コーラス/アタック/サステイン/ビブラート/ビブラートディレイ機能(各機能共微調整可能)	コーラス/アタック/サステイン機能(各機能共微調整可能)
その他	調律(ピッチコントロール)/音量調整スライド/音色調整スライド/エクスプレッション	
入出力	ラインイン・ラインアウト	
スピーカー	出力100W、 38cm×1.6cmツイーター	出力70W、30cm×1

## 安全上のご注意

ご使用前に、「安全上のご注意」をお読みの上、正しくお使い下さい。

ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守って下さい。

製品本体に表示されているマークには次のような意味があります。



注意：火災や感電防止のため、本体を雨や湿気の多いところに、さらさないでください。



このマークは、感電の危険があることを警告しています。



このマークは、注意喚起シンボルです。取扱説明書等に、一般的な注意、警告の説明が記載されていることを表しています。



**警告**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。



**注意**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容が記載されています。

絵表示の例



△記号は注意(用心してほしい)を促す内容があることを告げるものです。左図の場合は「指を挟まないよう注意」が描かれています。



○記号は禁止(行ってはいけない)の行為であることを告げるものです。左図の場合は「分解禁止」が描かれています。



●記号は強制(必ず実行してほしい)したり、指示する内容があることを告げるものです。左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜く」が描かれています。



**警告**

■電源は、必ずAC100Vを使う

100V以外禁止



●電圧の異なる電源を使用しないで下さい。  
●発火の恐れがあります。

■水に濡れた手で、電源プラグを抜き差ししない

濡れた手で触らない



●感電の原因になります。

■本機を落とさない

落とさない



●運搬の際は、必ず2人以上で運んで下さい。

■イスは次のように使用しない

- イスで遊んだり、踏み台にしない
- イスには2人以上座らない
- イスの高さ調整は、イスからおりて行う(調節機能付きの場合)
- 蓋の開閉はイスから降りて行う

使用しない



●イスが倒れたり、指をはさむ恐れがあり、けがの原因になります。

■本機を分解、修理、改造しない

分解禁止



●故障、感電、ショートの原因になります。

■電源プラグを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜く

プラグ部分を持つ



●コードを引っ張るとコードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

■長時間ご使用しない時は必ず電源プラグを抜く

プラグを抜く



●落雷時に火災の原因になります。

## 弾いてみましょう

### 1.電源コードをつなぎましょう

コンセントに電源コードのプラグを差し込んでください。

### 2.ウッドベースを弾いてみましょう

電源スイッチを入れると、前面右手前のランプが点灯し、5秒ほど経つと、ウッドベースのランプが点灯し、演奏することができます。

### 3.音量を調節しましょう

「エクспレッションダイヤル」を調節し音量をセットします。出来るだけ中間にセットし、微調整は音量スライド(パネル左より2つ目のスライド)で行ってください。

### 4.音色を変えて弾いてみましょう

音色は1~7のボタンに各3種類プリセットされており、合計21種類から1つ選びます。各ボタンは3段階(下→上→中の順でランプが点灯します)に切り替わります。再度、音色を切り替える場合は、「下→上→中」の順で操作してください。

パーカッションは(各鍵盤は別表“370DXのみ”の音になります)打楽器ボタンを押し、切り替えてください。その際、他の音色はご使用できません。

ティンパニーは、音域に関らず、3オクターブすべて同じ音が出ます(Cを除く)。同じ音を連打するときは、オクターブで同じ鍵盤を押ししてください。(例:“C”の連打は「C2とC3」、または「C4とC5」を使用してください。)

### 5.その他の機能を使いましょう

(1)コーラス:音の厚みを増すときに使います。

(2)アタック:音の立ち上がりを遅くすることができます。

(3)サステイン:音の余韻を残すときに使います。

(4)ビブラート:音の高さを上下に震わせることができます。(370DXのみ)

※コーラス/アタック/サステイン/リバーブなどの効果は、ONにした時、1~7の音色ランプが点滅し、7段階の設定ができます。操作は点滅させた状態で、音色ボタンを押し、効果範囲を設定します。

(5)ビブラートディレイ:鍵盤を押してからビブラートが掛かるまでの時間を遅くすることができます。(370DXのみ)

※コーラス等、効果ボタンの操作方法と同様に行います。点滅している音色ランプ1~7の範囲で設定してください。番号が大きくなるほどディレイタイムが遅くなります。ディレイボタンを押した状態で音色のボタンを押し、設定してください。

※電源を入れたときの各効果は、アタック/ディレイは“1”、コーラス/サステイン/ビブラートは“3”の設定になっています。

※プリセットされた音色によっては、各効果が予め設定されています。

(6)調律:ピッチ(音程)を7段階(A=438~444)に変えられます。他の楽器と音程を合わせるときに使います。

※調律ボタンを押すと、音色ランプが点滅し、下記の番号順にA=438~444の範囲で変えられます。ボタンを押した状態で、音色ボタンを押してください。

(電源を入れた初期設定は440Hzです。)

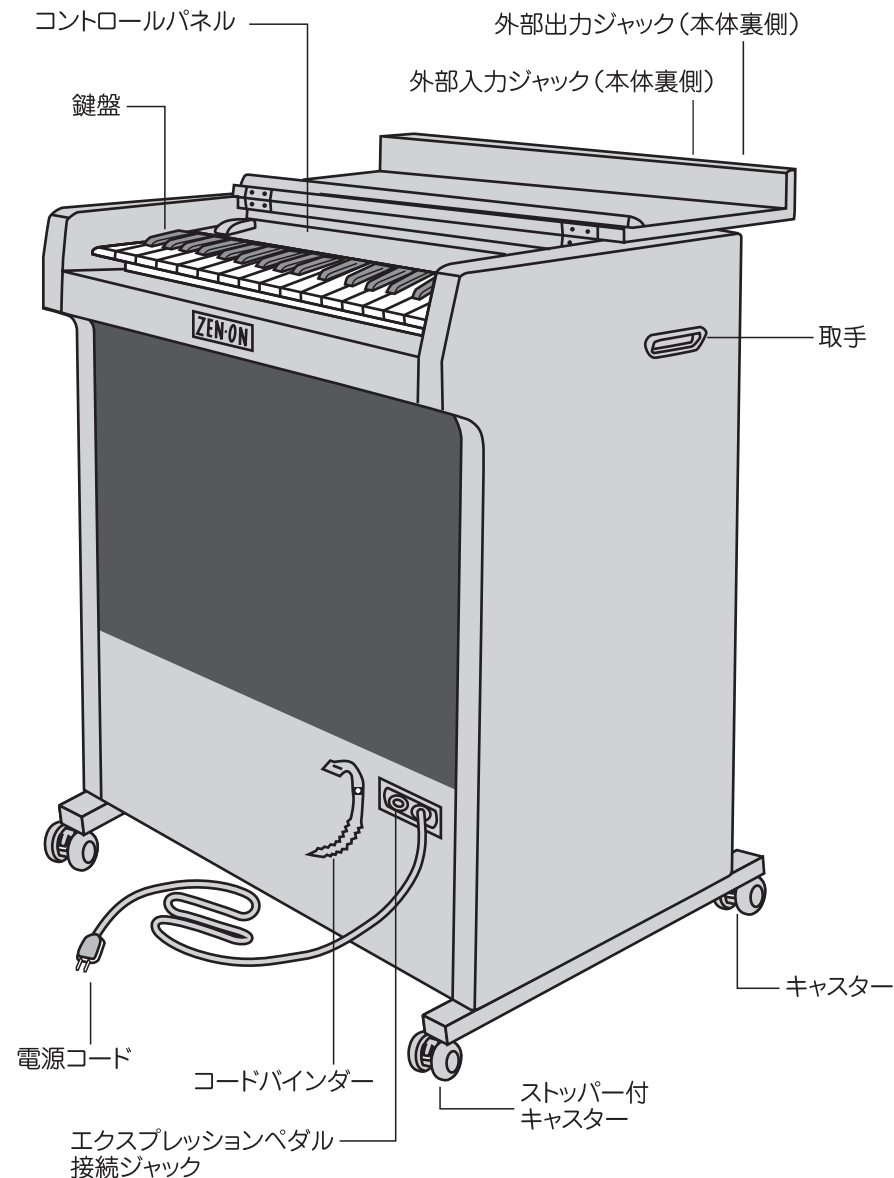
1:438、2:439、3:440、4:441、5:442、6:443、7:444、に対応しています。

### 6.電源スイッチを「切」にしてください

本器を長時間使用しない場合は、必ず電源スイッチを切ってください。パネルのランプ類等、右手前の電源ランプがすべて消えていることを確認してから蓋を開けてください。

※電源スイッチを切ると、「機能」「調律」(ピッチ)などすべて初期状態に戻ります。

## 各部の名称



# コントロール・パネルの説明

**エクспレッション ダイヤル** / パネル左端のダイヤルを上下に回し音量の調整をします。上に回すと音量が大きくなり、手前に回す小さくなります。クレッシェントやデクレッシェントなど音楽に表情をつけます。

**音量スライド (パネル左より2つ目のスライド)** / 上下にスライドさせ音量を調節します。上にスライドすると音量が大きくなり、下にすると小さくなります。エクспレッション ダイヤル及び、スライドを最大にした時、最も大きな音量になります。

**音色スライド (パネル左より3つ目のスライド)** / 奥へスライドすると硬い音色、手前にスライドすると軟らかい音色になります。

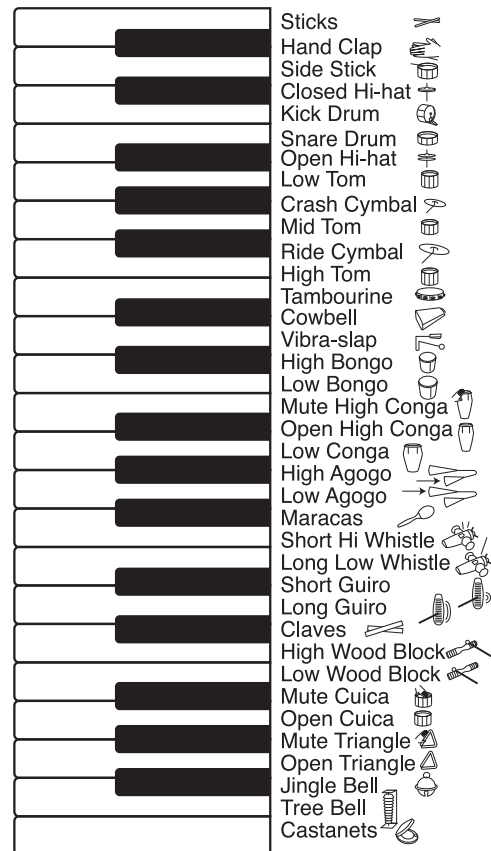
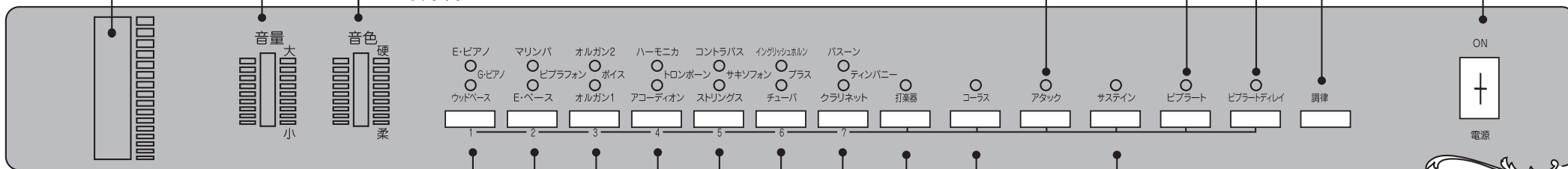
**ピッチ・コントロール** / LEDの左から順に1:438、2:439、3:440、4:441、5:442、6:443、7:444、に対応しています。

**ビブラート ディレイ** / ビブラートが掛かるまでの時間を遅くできます。【SB-370DXのみ】

**ビブラート** / 音の高さを上下に震わせることができます。【SB-370DXのみ】

**アタック** / 音の立ち上がりを遅くできます。

**電源スイッチ** / “ON” (上部) を押すと電源が入り、赤いランプが点灯します。手前 (下部) を押すと電源が切れ、ランプが消えます。



**音色選択ボタン** / プリセットされた21音色から1つの音色を選び、ボタンを押します。選択した楽器には赤いランプが点灯します。音色は1~7番に各3音色がプリセットされています。各番号ボタンを押すことで音色が移動します。(操作方法は6ページNo4を参照)

**パーカッションの音色**【SB-370DXのみ】  
イラストで表示された打楽器の鍵盤を弾くことでパーカッションの音が楽しめます。

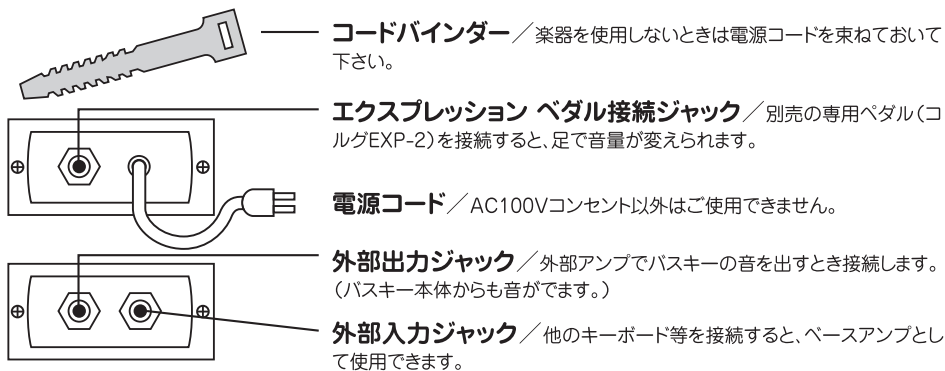
## 次の場合は故障ではありません

- 電源スイッチを入れてから約5秒間は鍵盤を押しても音が出ません。
- エクспレッション ダイヤルを手前に廻し切った状態で鍵盤を押しても音が出ません。(ボリュームがoffの状態になっています。)

**サステイン** / “ON” にすると赤いランプが点灯し、鍵盤から指を離しても音の余韻が残ります。OFFでは余韻が残りません。

**コーラス** / “ON” にすると赤いランプが点灯して音に厚みが増し、“OFF” にすると普通に返ります。

# ジャックパネルの説明



**コードバインダー** / 楽器を使用しないときは電源コードを束ねておいて下さい。

**エクспレッション ペダル接続ジャック** / 別売の専用ペダル(コルグEXP-2)を接続すると、足で音量が変えられます。

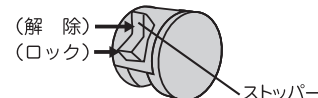
**電源コード** / AC100Vコンセント以外のご使用できません。

**外部出力ジャック** / 外部アンプでバスキーの音を出すとき接続します。(バスキー本体からも音がでます。)

**外部入力ジャック** / 他のキーボード等を接続すると、ベースアンプとして使用できます。

(バスキー本体にあるエクспレッションでの音量調節できません。)  
※大きな音量での入力、スピーカー等に悪影響を与えますので注意して下さい。

# ストッパー付きキャストの説明



鍵盤側2ヶ所のキャストにはストッパーが付いています。演奏するときは必ず右図のレバーを押し、ロックしてください。